

○『社会福祉協議会活動実態調査報告書 2012』の刊行

昨年度、皆様にご協力いただき、『社会福祉協議会活動実態調査報告書 2012（ボランティア活動年報 2013）』および『社協ボランティア・市民活動センター当面の取り組みの提案』を作成いたしました。すでに全国の都道府県社協・指定都市社協・市区町村社協の皆様方には3月末に発送させていただきましたが、別途ご入用の場合は、『社会福祉協議会活動実態調査報告書 2012（ボランティア活動年報 2013）』は一冊 2,000 円（送料別）にて頒布しておりますので、ぜひご活用ください。（『社協ボランティア・市民活動センター当面の取り組みの提案』は無料です。送料をご負担いただきます）

○体裁：A4 判、378 頁

○頒布代：1 部 2000 円（税込）、送料は別途かかります。

○連絡先

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

地域福祉部（森）、全国ボランティア・市民活動振興センター（古橋）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞ヶ関ビル

TEL 03-3581-4655（地域福祉部）

03-3581-4656(全国ボランティア・市民活動振興センター) / FAX 03-3581-7858

MAIL c-news@shakyo.or.jp

次回は、2014(平成 26)年 4 月 30 日(水)に発行予定です。

■他団体等からのお知らせ等

◆NHK ドキュメンタリー『にっぽん紀行』放送のご案内
(新潟県南魚沼市社協)

南魚沼市社協で作成した「老後の生き方ライフデザインノート」(エンディングノート・自分史ノート)を題材とした番組がNHK総合テレビ『にっぽん紀行』にて放送されます。ぜひご覧ください。

番組公式サイトはこちら

<http://www4.nhk.or.jp/nipponkikou/x/2014-05-08/21/66068/>

【タイトル】NHK ドキュメンタリー『にっぽん紀行』

【放送予定】2014 年 5 月 8 日(木) NHK 総合・午後 7 時 30 分～7 時 58 分

【内 容】

新潟県南魚沼市で今、高齢者の間に広まっているノートがある。自分の人生を記し、家族に見せるというもの。記憶を辿るお年寄りと、初めて家族の過去を知る子や孫の物語。米どころとして知られる新潟県南魚沼市。この町のお年寄りの間で今、あるノートが配られ話題を集めている。それは自分たちの人生を記録し家族に伝えようというものだ。今は亡き最愛の妻との思い出、嫁いできたころの気持ち。お年寄りたちは地域社会の中で生き抜いてきた記憶をたどり始める。見つめる子や孫たちは、初めて聞かされる記憶をどう受けとめるのか。ノートをきっかけに新たなつながりを築き始める家族の物語をみつめる。

【お問合わせ】南魚沼市社協 電話:025-773-6911 (担当:本多博樹)

◆「地域に根ざす、中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾 2014」
(東京ボランティア・市民活動センター)

中間支援組織スタッフの学び場【支援力アップ塾】は、今年度は5月～11月の間に、各講座を開講します。第1弾【スタートアップ編】の受講生募集を開始しました。地域の多様な中間支援組織スタッフが集まるこの機会をぜひ、ご活用ください。

■スタートアップ編

中間支援組織スタッフに求められる価値や態度を確認する3日間。

3日間通して受講していただくカリキュラムです。

◎定員：50名 定員になりしだい締切ます

◎申込締切：5月7日(水)

◎申込み方法：webサイトを确认后、申込みフォームからお申込みください。

<http://www.tvac.or.jp/im2014>

◎受講対象

- ・地域に根ざして活動する中間支援組織及び中間支援機能を持つ組織のスタッフ
- ・ボランティアや市民活動団体、NPOとともに地域づくりをすすめる組織及び所管のスタッフ
- ・その他、中間支援の業務を検討中の組織のスタッフ
- ・上記の受講対象の方で、さらに、以下 a) b) c) のいずれかに該当する方
 - a) ボランティア活動の経験がある
 - b) これまでに地域社会、組織（施設・機関、NPOなど）においてボランティアコーディネーションに関わった経験がある
 - c) ボランティアコーディネーションに関わる予定がある
- ・年齢や勤務年数、常勤、非常勤など雇用の形態は問いません

・原則、個人は対象としておりませんが、中間支援の業務の経験のある方や予定のある方は、お手数ですが事務局までお問合せください

◎スタートアップ編受講料 ひとり 15000 円

・なお、ボランティアコーディネーション力 3 級検定合格証をお持ちの方は事務局にご相談ください

◎主催・協力

主催：東京ボランティア・市民活動センター＝TVAC

協力：NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会＝JVCA

【詳細・お問い合わせ】

詳細はこちら→ <http://www.tvac.or.jp/im2014>

東京ボランティア・市民活動センター

支援力アップ塾担当（佐藤、清水、熊谷、朝比奈）

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸（かぐらがし）1-1

セントラルプラザ 10 階

メールでのお問合せは、E-mail: im@tvac.or.jp

TEL: 03-3235-1171 / FAX: 03-3235-0050

◆「ボランティアコーディネーション力 3 級・2 級検定」

（特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会）

これらの検定は、ボランティアコーディネーションの重要性を多くの人に知っていただき、その力を身につけ、身近な地域社会や、各自の所属する組織、その他の幅広い市民活動の場面において発揮していただくために、段階的に実施するシステムの一環です。3 級検定はボランティアならびにボランティアコーディネーションに関する基礎的な知識の理解、2 級検定はそれらを実務に応用する力を身につけることを目指しています。

【詳細・お申込み】 下記 URL より、お申込みください。

WEB： <http://www.jvca2001.org>

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会（担当：松浦・後藤）

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-13 末よしビル別館 30D

TEL: 03-5225-1545（火曜日・土曜日の 10:00-19:00） FAX: 03-5225-1563

E メール: jvca@jvca2001.org

◆「公益財団法人太陽生命厚生財団 平成 26 年度社会福祉助成事業」
(公益財団法人 太陽生命厚生財団)

1. 助成事業及び金額

I. 事業助成<ボランティアグループ等が行う事業への助成>

ボランティアグループ等が在宅高齢者または在宅障がい者等のために福祉活動や文化活動および復興支援を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対し助成する。

II. 研究助成<老人保健、生活習慣病または高齢者福祉に関する研究・調査への助成>

2. 助成対象

I. 事業助成

地域福祉活動を目的とするボランティアグループ及びNPO（法人格の有無は不問）

II. 研究助成

非営利の民間団体等および個人

【詳細・お申込み】

応募の詳細および応募申込書・要項の請求は

<http://www.taiyolife-zaidan.or.jp/>

からダウンロードしてください。

【お問い合わせ】

公益財団法人 太陽生命厚生財団 事務局

TEL・FAX 03-6674-1217

<http://www.taiyolife-zaidan.or.jp>

■事務局より

◆記事・情報を随時募集しています

セミナー等の紹介・案内(開催地等は問いません)をより多く掲載したいと考えておりますので、ぜひ情報をお寄せください。また、社協の取り組みやホームページリニューアル等の、社協をアピールする記事もお寄せいただければ掲載をいたします。

ご希望の際は事務局までお寄せください。また、本メールニュースのご感想・ご意見もお待ちしております。

●本メールニュースへの情報・ご意見はこちらへ

メールニュース(社協版)専用 : c-news@shakyo.or.jp

●「地域福祉・ボランティア情報ネットワーク」トップページ

<http://www.zcwvc.net/>

●メールニュースのバックナンバーはこちらで見ることができます

<http://www.shakyo.or.jp/hp/article/index.php?s=1&m=333>

●メールアドレスの変更、メールニュースの配信停止はこちらへ

<http://www.zcwvc.net/メールニュース-社協版>



社会福祉法人 全国社会福祉協議会

地域福祉部／全国ボランティア・市民活動振興センター

電話 03-3581-4655/4656

メールニュース(社協版)専用 : c-news@shakyo.or.jp



次回は2014(平成26)年4月30日(水)に発行予定です。